

お知らせ

Press Information

メルセデス・ベンツ日本
「ITS-Safety2010 08 年度大規模実証実験」に参加

2009年1月21日

- ・ ASV（先進安全自動車）^{*1}プロジェクトに参加
- ・ DSSS（安全運転支援システム）^{*2}プロジェクトに参加
- ・ スマートウェイ^{*3}プロジェクトに参加
- ・ 実験車両メルセデス・ベンツ S 550 long に安全運転支援システムを搭載

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:ハンス・テンペル、本社:東京都港区)は、官民合同組織「ITS 推進協議会」が 2010 年度からの実用化を目標に実施する「ITS-Safety2010 08 年度大規模実証実験」^{*4}に参加しています。

この実験では、メルセデス・ベンツ S 550 long の実験車両に安全運転支援システムを搭載し、関係団体・参加企業とともに、路車間および車車間の情報通信を用いた交通事故防止システムの検証を行っています。

2月25日からは報道関係者及び一部一般むけに公道実走行公開デモンストレーションが予定されており、実際にご確認いただくことができます。

メルセデス・ベンツは 1939 年以来、自動車の安全技術開発に邁進してきました。現在では、安全性向上は自動車を発明した会社の社会的責任と位置づけ、危険回避から事故発生時の被害の最小化までを連携させる包括的な技術開発を推進しています。また、その一環として、世界各地で行われる「インフラ協調による安全運転支援システム」構築のプロジェクトにも積極的に取り組んでいます。

*1) ASV（先進安全自動車 / Advanced Safety Vehicle）とは：

先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車。国土交通省自動車交通局が中心となって自動車安全技術の研究・開発の推進を目指した取り組みを行なっている。

*2) DSSS（Driving Safety Support Systems）とは：

ドライバーが安全に運転できるように支援するシステム。ドライバーが視認困難な位置にある自動車、二輪車、歩行者等を各種感知器が検出し、その情報を路車間通信を通して提供し注意を促す。警察庁と UTMS（社団法人新交通管理システム協会）が中心となってプロジェクトを進めている。

*3) スマートウェイ：

VICS、ETC、AHS 等の多様な ITS 技術を統合して組み込み交通事故や渋滞の削減を目指すシステム。国土交通省道路局が継続的にプロジェクトを推進している。

*4) ITS-Safety2010 08 年度大規模実証実験とは

交通事故の未然防止を目的とした ITS による安全運転支援システムの大規模実証実験のこれまでの取り組みや実験の内容、結果等を周知するために一般試乗会、展示会やシンポジウムなどの公開デモンストレーションを行なう。



安全運転支援システムを搭載した実験車両「メルセデス・ベンツ S 550 long」